

2014年度

TNVN

第1回運営委員会を開きました

最近の活動状況と地域の情報そして運営委員会の見直しについて話されました。

2014年7月11日/18:00~20:00 東京ボランティア市民活動センター・ロビーにて。出席者:運営委員3名、TNVNスタッフ5名。

活動状況の報告

- **会員動向** / 韓国の韓日社会文化フォーラムからTNVNへ入会希望があり会員に、ベトナム在住の方からTNVNと関係を持ちたいとの申し出がありました。
- **「ボランティア日本語教室ガイド2014東京」**を1200部発行し、掲載団体の他、区市役所・国際交流協会、大使館、図書館、その他関連機関に配布しました。
- **出前講習会**の依頼が多くなりました。
- (8ページ参照)
- **地域の講座**について各参加メンバーから
 - ・足立区 / 区がボランティア支援講座(8回)を開催、講座終了者は、既設の教室に入る。現在活躍中のボランティアのために、中級講座(4回)を区主催で開催しています。
 - ・町田市 / MIFA独自の講座8回、国際交流センター、市が主催の養成講座がある。
- ・東久留米 / 助成金に応募して講座を開いている。
- **「わかる日本語」研究会の現状**
 - ・最近「やさしい日本語」の取組が各地、各機関で盛んとなり、公文書でも横浜市市民局広報課の取組が紹介されている。
 - ・研究会はこれまで得た実績を今後日本語ボランティア活動の立場で独自性をもった“手引き書”を出すのが目標です。

地域の活動状況について情報報告と意見交換

- **教室活動と学習者の動向と対応**
 - ❖ **支援者**
 - ・高齢化が進んでいる、若いボランティアの補充が必要。
 - ・男性のボランティアが増加、リタイアした人。
 - ・若年者より中高年者の方が長続きする。
 - ❖ **学習者**
 - ・ネパール、ベトナムが急増、アフリカからの来訪者が参加、中国も増えている。
 - ・足立区はタイが多く、韓国が減少。町田市はフィリピンが増加。東久留米市はインターナショナルスクールの先生とその婦人が多い、ギニアからも。
- **地域での連携**
 - 足立区 / 行政がまとめ役
 - 東久留米市 / 市との協定を結ぶ、図書館の多文化コーナーを充実させ、外国人の利用などの相談を受ける。

運営委員会を見直す

- ❖ **これまで**
 - 設立時「運営委員」が必要ではないかとの考えから作られ、日本語の専門家が委員となりアドバイスを貰っていた。また運営委員が中心に様々な講習会を開催していた。
 - 総会開催通知に「運営委員」になっていただけるかの問いに受け手がなく、改めて限られた中で依頼をしている。
 - TNVNの運営は役員とスタッフの活動で進められている。
 - 運営委員会は活動報告と情報・意見交換の場となっている。
- 運営委員の方から「運営委員会」のあり方について見直しの意見が出ている。
- 運営委員会は年3回の参加でいろいろな情報が得られる。
- ❖ **これからに向けて**
 - 多くの会員メンバーや外部の関係者が集まりTNVNの活動について意見や提案をいただくと共に、都内の日本語ボランティア活動の状況、情報交換などを行う機会をどの様に作るか。
 - ・多くの人が集える場になると良い。
 - ・名称を、「TNVN連絡会」連絡員(参加者は代表でなくても良い)、「情報交換会」、「意見交換会」などに変更し多くの人に参加して貰う。
 - ・開催の曜日・時間を見直しでは。
 - ・会員以外、他県の方や外国人にも参加してもらったら。
 - これらの意見が出ました。
 - 次回の運営委員会で「運営委員」、運営委員会について話し合い今期中に決めていきます。

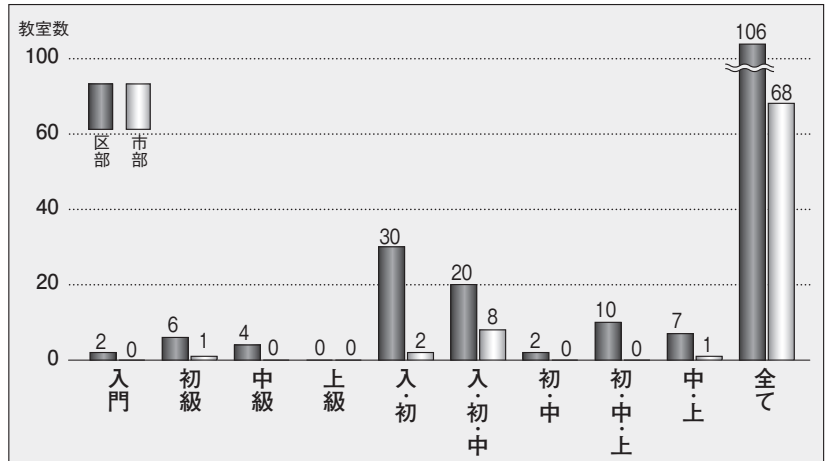
グラフ
で見る

ボランティア日本語教室の 活動状況…2

前号に続き「ボランティア日本語教室ガイド2014東京」に掲載されている教室内容を
項目別にグラフにしました。(教室数：区部187、市部79、合計268)

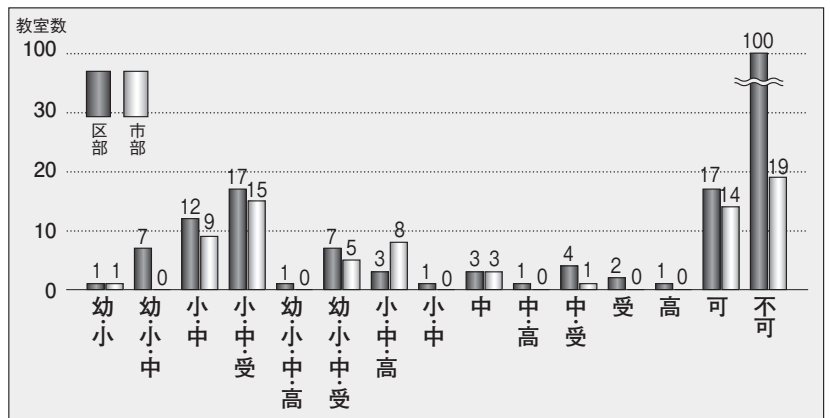
学習者 レベル対応

全てに対応する教室が全体の65% (区部57%,市部86%) 次いで入門・初級対応12%、入門・初級・中級対応10%と続いています。一方で入門、初級、中級それぞれのレベルのみを対応している教室も少数です。



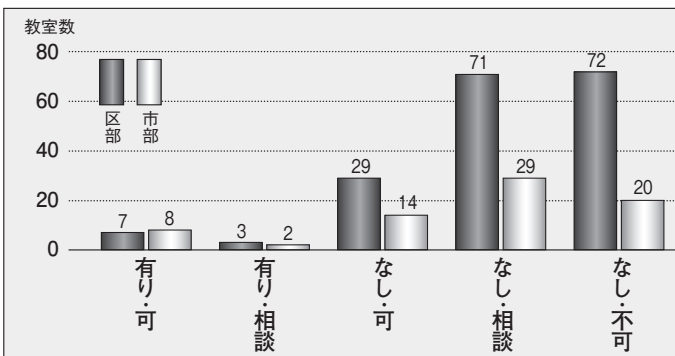
児童・生徒 の受入

児童・生徒の受入をしない教室は全体で44% ですが区部53%、市部24%と大きな差があります。受入の教室56%の内、小学生・中学生を受入れている教室は32%、又高校受験生を19%の教室が支援しています。受入可としている教室は12%です。



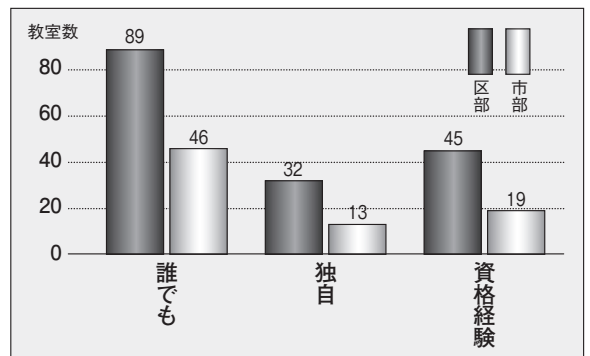
保育 子ども連れ

保育と子ども連れの参加が可能な教室は区市共に少なく全体で7%です。一方保育なしで子ども連れ受入可・相談は53%です。



支援者の 資格

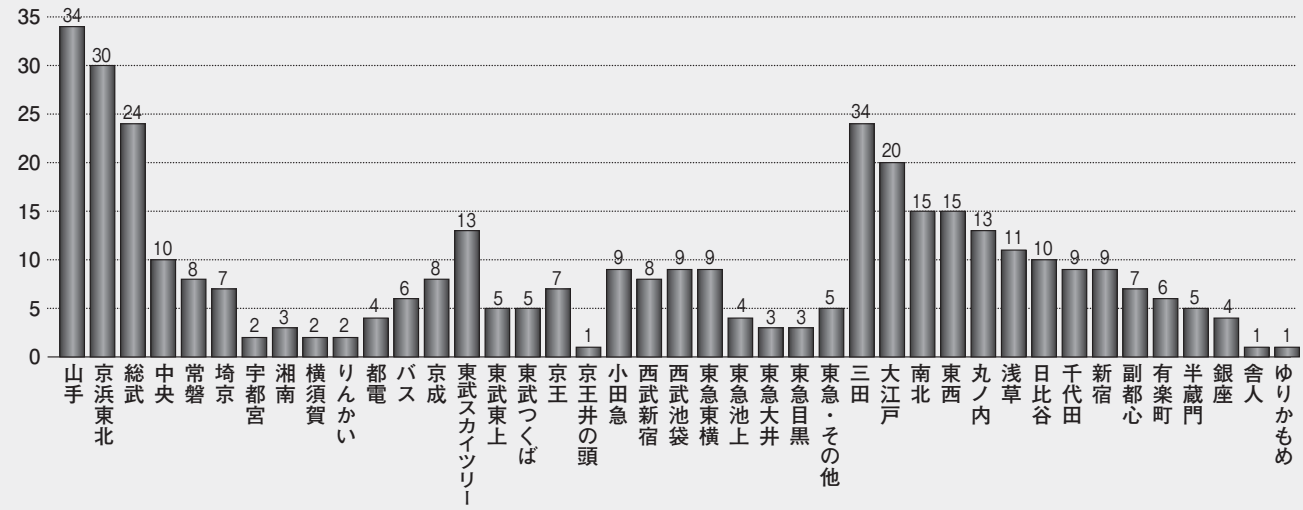
区市共に“誰でも”が最も多く区部48%、市部58%、一方独自の講座受講条件が18%、16%となっています。



最寄り路線 (区部)

交通網が広く張り巡らせており、その中で最寄り路線の多いのがJRで山手・京浜東北・総武の各線、私鉄は地域により異なり、地下鉄は三田・大江戸・南北・東西が多いです。

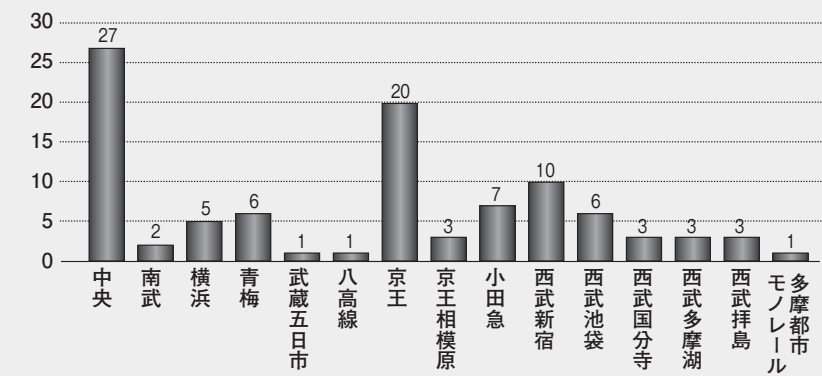
教室数



最寄り路線 (市部)

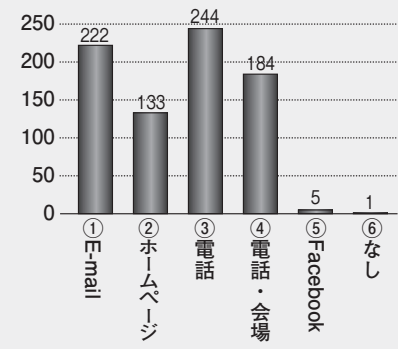
区部と違い各路線はターミナル駅が少なく、どれかの路線に限られています。特にJR中央、京王、西武と路線に分散しています。ローカル色も出ています。

教室数



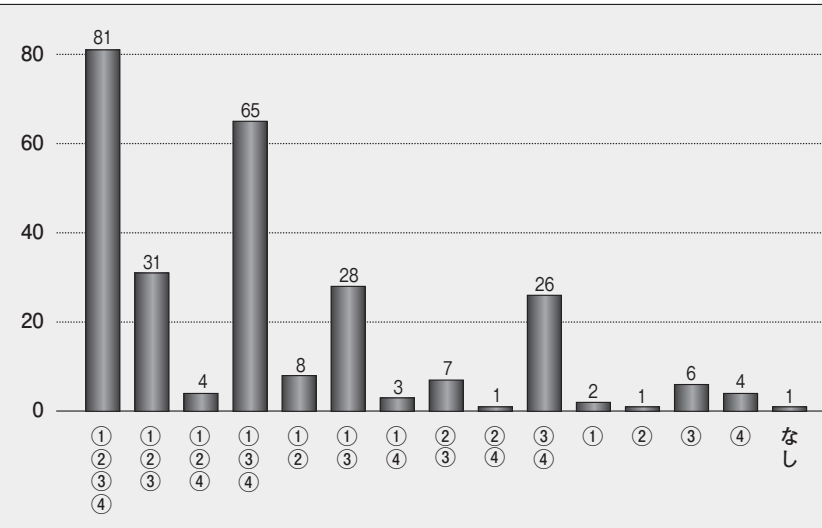
問い合わせの方法 1

問合せの方法として、電話、E-mailがこれまで一般的でしたが、ホームページを持つ教室も増え、新たにFacebookでの受発信があります。



問い合わせの方法 2

一つの教室で複数の問合せ方法をとっています。図-8は図-7の①～⑤の組み合わせで図示しました。①②③④いずれも可能な教室が30%、③電話と①E-mail共に可能なのが76%となっています。



気になる敬語の使い方

日本語教師 金子 広幸

2014年3月に拙著、改訂版『新・ほんご敬語トレーニング』が出版されました。この本は、よく出会う敬語使用場面を基本に編まれているのですが、そもそも日本語を使っている私たちはどんなところで敬語を身につけているのでしょうか。

まず、親族や学校の先生の中に言葉遣いうるさい人がいたという人たちがいます。10代のときに「クラブ」で学んだという人もいます。いわゆる「先輩・後輩」を学ぶのですが、これをクラスで外国人の学生に紹介したら笑いました。「踊りながら敬語を勉強するんですか?!」と。彼らにとっての「クラブ」とは、私の世代の言う「ディスコ」なんですよ。さらに、「アルバイト」や成人してからという人もいます。終身雇用制だった時代は、バイトも新入社員も一定期間敬語をたたきあげられていました。でも、最近は不景気のせいか、そんなことはないようです。

それでも、いつの世も「美しく正しい日本語」の信奉者がいて、敬語の使い方はその槍玉にあげられます。日本人は今も昔もいったいどこでこの敬語の感覚を養っているのでしょうか。

どこで学んでいるか不明だから、最近「気になる敬語の使い方」が見られます。

◆某都市銀行の店頭での話。カード

をどこに入れるかわからなかった私は行員に聞きました。すると…「ここにお入れしてください」。新幹線の中では「お使いしたリクライニングはもとの位置にお戻してください」。…機械に謙譲語か…。

◆刑事ドラマの1シーン。上司である署長が犯人をいつ逮捕するかと思いきや、部下の刑事が「私が逮捕いたします」。…え? この署長を??

◆日本人の大学生に「今日試験があるの、知ってる?」と聞くと「存じ上げません」。…人にしか使えないんだけどなあ。

◆ちょっと敬語とは違うのですが、大学生のレポートなどで目立つのが「なかったです」。動詞の過去否定で、「～ませんでした」の代わりに「～なかったです」を使うのです。ウィキ○ディアなどから「コピペ」したものを「ですますスタイル」にするときには、そのまま「です」をつければいから便利らしいのです。日本人の学生に「昨日行きましたか」と聞くと「行かなかったです」と答えるので、外国人の学生が目白黒。

◆「ニナリマス」が気になる私、店で「きつねうどんになります」といわれ、ついに「いつなるんですか」と聞くチャンスがありました! …これはかなり市民権を得ています。大学の50代の事務員が「今月の明細になります」と毎月おっしゃいます。一度

「あとどのくらい待ったら?」と聞いてみようかと思っています。

こんなことをあげつらっていると、言葉づかいにうるさいオジサンと思われるのですが、でも私は日本語教師ですからね、クラスでは、徹底的に敬語の訓練をしています。いくつかご紹介をしましょう。

「国から両親が来る人にインタビュー」。自然なシチュエーションで敬語が出て来るように工夫したものです。このインタビュー結果をもとに、実際にツアースケジュールを作ったりもします。

「敬語メール」も宿題として出します。じっくり考えながら敬語の文章を編むので、初心者 of 学生には好評です。また、実際に読む人を決めてその人に出す本物の手紙も書きます。これは伝統的な縦書きの手書きにします。他にも、何かのパーティー場面を想定した「○○スピーチ」、「誘う」「断る」「おわびする」「面接を受ける」などでは、状況を厳密に想定して、ロールプレイをしてもらっています。

現実に近いければ、学生の意欲が高まり、即効性のある学習になるという考え方です。となったら、日本人の皆さんも敬語をどこかで練習しませんか。

さてさて、100年後の2114年の日本の私は151歳。敬語はどうなっていることでしょうか。

一般社団法人国際交流&日本語支援 Y



「一般社団法人国際交流&日本語支援Y」の代表理事、橋本由紀江さんを東京ボランティア・市民活動センターにお迎えして、EPA 候補者に対する日本語学習支援について伺いました。

EPA 候補者は、経済連携協定 (EPA) または交換公文に基づきインドネシア、フィリピン、ベトナムから、国際厚生事業団を通じ「日本の看護師・介護福祉士資格を取得することを目的とした研修を受けながら就労する人達」をいいます。就労、学習環境は受け入れ先により違いがありますが、どの方も日本語の壁を越える大変な努力が求められています。

国際交流&日本語支援Yは、平成17年に日本語教師のバックグラウンドをもつボランティアの方達の努力により横浜で設立されました。主に日本で目的をもって日本語学習に取り組んでいる人への日本語学習支援、教材開発、その提供、就労支援をしています。“Y”が掲げる「今、私達にできることを」は、まさに多くのボランティアが実践していることではないでしょうか。

日本で少子高齢化が問題視され、解決策の一つとして注目されたアジアの心優しき女性たちを日本へよぶという国策は少しずつ変化してきました。技能実習生との出会いは、すでに身近なものになっていますが、今後その中にEPA 候補者が加わる可能性ができました。また、定住者の方からも介護に関わる仕事を望む声があります。私達ボランティアが介護福祉の道にすすむ方達

への支援の知識を持つことは時代に合ったものだと思います。

現在、EPA 候補者はどのように勉強をすすめているのでしょうか。まず、1年目は国家試験受験学習に必要な日本語力の強化をします。特に漢字と専門語彙の習得に力をいれます。これは生活の中で必要な日本語から学んでいる定住者の方達と大きく違うところです。膨大な数の専門用語習得を期待されるEPA 候補者は漢字を足がかりとします。漢字の組み合わせの中から意味を推測することは国家試験合格にとても大切です。例えば、「やまいだれ」のつく漢字(病、症等)は病気の言葉だと認識し、専門語彙を増やすことができます。“Y”は「介護の言葉と漢字のハンドブック」を英語、インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語で出版しています。これには介護に関係する漢字を429文字、言葉を2200語載せました。実際の介護に必要な漢字を8割

が網羅しているとの評を専門家から貰っています。この「漢字に特化」が、その後の“Y”の方向を決めたといえます。

2年目に力をいれるのが、介護の基礎知識の習得です。机に向かう勉強より仕事の経験を積んでいきます。

3年目は国家試験受験対策です。“Y”は外国人のための介護福祉士国家試験対策のテキストを「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」にわけ出版しています。EPA 候補者は日本語習得と同時に日本文化、社会への理解を深め、介護サービスの利用者である日本人のイメージを広げる努力をします。また、受け入れ施設は、EPA 候補者が今どのレベルにいるかを見極め、適切な対応をしていきます。

EPA 候補者たちを「この子たちは…」とよぶ、橋本さんのお母さんのような優しいお気持ち、取材する私たちにも伝わってきました。

(大木千冬、岡田美奈子、林川玲子、山本英子)



■皆 友達 スペース・アイ

スペース・アイ (渋谷区)

代表 平島 こそえ

スペース・アイは、日本で暮らしている外国人と日本語でお喋りをするボランティアグループです。

日本にやってきて、慣れない異国暮らしに戸惑っている外国の人達を、お喋りを通して応援し、交流することで相互理解を深め、国際貢献をしたいという目的で2003年に設立されました。

スペース・アイの『アイ』には「私」、「愛」、「相対する」という意味が込められています。また「アイ=I」はInternationalの頭文字でもあります。

活動の中心は、ボランティアと外国人

(日本国籍の人も含む)との日本語でのお喋りです。通常1対1で対応しますが、テレビの話や食べ物、買い物など日常の話題を日本語でお喋りすることで、日本での暮らしに必要な日本語を覚え、日本の生活に馴染んでもらえるようにというもので、日本語を教える「日本語教室」ではありません。

活動場所は「渋谷区総合ケアコミュニティ・せせらぎ」です。火曜日から土曜日の間で、都合のよい曜日、時間帯に2時間程度お喋りをします。



この他、ボランティアも外国人も一緒になって楽しむ行事として「初釜」「浴衣着付け体験」「お国自慢料理大会」「年末パーティー」などや、ボランティアの為の研修会、懇親会などの活動があります。これらは日頃は個別の活動の為に顔を合わす機会が少ないボランティア同士が知り合い、情報交換をする貴重な場となっています。

会員団体紹介

Nice to Meet You

「にほんごの会 談話室」は、「にほんごの会」のボランティア部門です。

親団体の「にほんごの会」は1984年に設立されました。当時、留学生など外国人が急増し、日本語教育の必要性が出てきていたことと、子育てで家庭に入った主婦の生きがいの場を設けたいとの願いの接点として、有志で立ち上げた団体です。

その活動は

- ①日本語教授(企業、研修生、個人など)
- ②日本語の研修、資格習得
- ③ボランティア活動としての外国人日本語支援、交流

の3本の柱からなっています。1988年に「にほんごの会企業組合」として法人化され、以来辞書や、教科書の出版活動も行い、企業、研修生日本語研修などの受

nice to meet you

■ここへ来れば話を聞いてくれる日本人がいるというオアシス的な場

にほんごの会企業組合「談話室」 (世田谷区)

矢野 成子

託、又各地で増えてきている日本語ボランティアグループへの日本語教授法への講師派遣など地道に活動の場を獲得しながら現在に至っています。

◎「にほんごの会」談話室の目的

- ①地域に住んでいる外国人への日本語支援(日本語を習っていても、実際に

話す場のない方への談話の場、さらに学習者にニーズに応じた支援、初級者も含む。スタッフは皆日本語教授の有資格者。)

- ②日本語の学習だけでなく、外国に住んでいる方たちがここへ来れば話を聞いてくれる日本人がいるというオアシス的な場の提供

活動の主なパターンは、自由に楽しく、生活、文化、社会など多岐にわたる話題の会話をする中で、学習者の日本語の問題点を取り出し、日本語の向上を支援しています。

その中で、スタッフにとっては、毎回びっくりするような発見や共感があるのも不思議な魅力です。日本語指導の奥にある国際交流の楽しさが、20年以上活動を続けてこられた原動力となっていると実感しています。



学習者の声

子どもの将来の intent

潘 淑榮 / 中国
FSC (ママチーム参加学習者) (墨田区)

いす。立派な息子に育てたいです。息子は智・徳・善で発展してほしい。一緒にがんばります。私は息子の将来を考えます。高校、大学に就いて立派な社会人にさせたい。今から頑張らないと無理ですね。息子よ! 頑張ってください。ママはずっと応援します。



今、週2回、錦糸小学校の学習センター教室でやっているFSCで勉強しています。ボランティアの先生は一生けんめい教えてください。でも、私の子どもは学校の勉強が苦手なので、どうしようと、私はいつも悩んでいます。息子は今、中学1年生です。今週、前期が終わりました。テストの点数も楽観できない、どうすれば息子の成績が上がるのか。

本人の努力が重要なので将来高校の受験は大丈夫なのか。いろいろの問題で私の心は苦しいです。

もし息子の勉強が進んだら私はうれしいです。息子がテストでいい点数が取れたら、私はとてもうれし

ボランティアの声

代表 藤田京子

外国人生徒学習の会 / FSC (墨田区)

「FSC」の活動

墨田の区教委と連携して学習支援を行うボランティア

FSC (Foreign Students Study Club)

FSCの活動を始めてから10年経ちましたが、この間『山あり、谷あり』の大きな変動を経験しました。FSC創立時点では区内の中学校の日本語教室が閉室され講師派遣型の指導に代わってから外国からの子どもの転入が多くなり、指導の困難さから入学を拒否する学校や拒否される子ども、入学しても十分な指導が行われない等から区民からもボランティアによる指導要求が高まりました。

私は引き上げ生徒の指導経験を持つ者として日本語指導の代表を務めることになったが、指導上の大きな問題は、定期的に行うことができる広い学習室や必要な資材の無いこと、何よりも指導意欲と能力を持つ一定数の指導者を集めることができるかということでした。特に高校受験を迎える中学生は深刻でした。来日によってこれからの学ぶ権利を失うかどうかの瀬戸際に追い込まれるからです。

私費や企業の協賛金で教材を買い、時間外の学習はボランティアセンターの段階で補習をし、雨のベランダで傘を差しながらの面接練習、個人宅を借りての個別学習などを努力しながらこの実情をマスコミに訴え

ました。

取材記事が新聞やケーブルテレビで報道されると、見学者が次々に訪れるようになり、区議員や区教育委員も外国人生徒の教育に関心を示し、FSCに指導の協力を求めることができました。結果、「FSC」の指導提案の全てが受け入れられ「すみだ国際学習センター」の発足となりました。(中学校)

まずは現場の学校から敬遠された「日本語学級」方式の学習は止め、短期間に日本語を学べるように初級日本語の集中学習を行うこと、場所は小学校の空き教室を利用し、指導は日本語指導資格を持つか、経験3年以上の指導者複数を充てること等が取り入れられて実現しました。そして学習の不足を補うために、「FSC」が水曜日と土日に生徒の希望に合わせた学習支援を行うことを了解、依頼されました。

センター発足から7年、200時間を超える初期集中日本語学習は他の学習の理解も容易にし、現在は元小中学校の教員や学習に関心のある人達がボランティアとして、未学習の教科や理解の困難な学習をマンツーマン体制で指導に当たり成果を上げ好評を得ています。

◎出前講習会

2014年度に依頼を受け、実施する出前講座は下記の通りです。

- ①八王子国際協会
 - 「日本語ボランティア基礎講座」
 - 全6回／6月3日～7月8日
 - 10:00～12:00
 - 講師／金子広幸、林川玲子
- ②公益財団法人新宿未来創造財団
 - 「日本語ボランティア研修講座」
 - 全10回／7月18日～8月29日
 - 10:00～12:00
 - 講師／川口義一、林川玲子、藤橋帥子、宮崎妙子、山形美保子
- ③所沢市教育委員会
 - 「日本語学習支援ボランティア養成講座」
 - 全3回／10月3日、9日、23日
- 14:00～16:00
- 講師／金子広幸、林川玲子
- ④武蔵村山日本語の会
 - 「日本語ボランティア スキルアップ講座」
 - 全1回／10月30日 19:00～21:00
 - 講師／梶村勝利、林川玲子
- ⑤公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー
 - 「平成26年度 日本語ボランティア・スキルアップ講座」
 - 全4回／11月27日、12月4日
 - 10:30～12:30 13:30～15:30
 - 講師／金子広幸、中山真理子、林川玲子、藤田京子

◎Web Magazine “MATCHA” を学習の場で使えませんか

◆Top page <http://mcha.jp/> ◆やさしい日本語 <http://mcha-easy.com/>

このWeb Magazine は英語、中文簡体、中文繁体、ハンダ、インドネシアの5言語に加え「やさしい日本語」版で訪日外国人観光客向けに観光・文化情報を新しい眼で発信しています。

食・店・スポット・ハウツー・オタクの欄があり、東京以外鎌倉・京都・大阪等も紹介しています。学生時代広く世界を旅した青年が「熱量」を持って主宰し、日本の本当の姿を外国人観光客

に「日本と海外の架け橋となるような場を作っていきます」と取り組んでいます。ボランティア日本語教室で学習者とのコミュニケーションで使って見ませんか？ 私達も思わぬ発見が出来るかも!!



column お客様の推移

お客様——。私は昔から、教室に来て下さる方々をお客さんだと思っています。“よく日本に来て下さいました”から始まり、“快適な日本でありますように”と念じています。その上、日本語が少しずつ身につく、暮らしが楽しくなることを手伝っています。日本語ボランティアを始めた頃は、日本人と結婚したフィリピンの女性が大半で、その後いろいろな国からのお客さんが来てくれました。マレーシア・シンガポール・中国・韓国・ベトナム・ミャンマー・ネ

パールなどアジアの方々为主ですが、その外に、スイス・アメリカ・ルーマニア・イギリスなどです。国の施策が東京の片隅にある小さい教室にも波及して来たことが思い返されます。現在は何故か国同志がぎくしゃくしている国からの方が多いです。草の根からこの不幸な関係が少しでも良い方向に向かうことを念じて、ボランティアを続けています。

「初歩日本語」小川 伶子



TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワークはボランティア日本語学習支援活動を行っている団体のネットワークです。TNVN の会員はそれぞれ地域での日本語学習支援活動を通して、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人などを、隣人として支援しています。TNVN は会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局の活動

◆日時：毎週金曜日午後2時～4時
第5金曜日／休み

◆場所
東京ボランティア・市民活動センター
JR、地下鉄（東西線・有楽町線・南北線・大江戸線一出口 B2b）飯田橋駅下車
セントラルプラザビル 10F ロビー

◆日本語ボランティア相談窓口
日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフがお応えしています。メール・電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えしています。ご意見もお待ちしております。

〒162-0823
東京都新宿区神楽河岸 1-1
東京ボランティア・市民活動センター
メールボックス No.4

◆TEL：03-3235-1171
(呼出：金曜日活動時間帯のみ)

◆FAX：03-3235-0050
◆E-mail：webadmin@tnvn.jp
◆URL：http://www.tnvn.jp/

◆郵便局払込
口座番号：00100-1-719259
加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク

◆新会員紹介
プラチナ日本語教室（港区）
NPO法人アジア交流支援協会（新宿区）

◆会員数（2014年8月9日現在）
正会員：86団体、団体会員：1団体
個人会員：15名、賛助会員：4団体

◆編集／大木千冬、岡田美奈子、小川伶子、梶村勝利、床呂英一、林川玲子、山本英子
◆レイアウト／鶴田 環恵